

つなぐ!バトン 豊かな海を 次世代へ



第43回 全国豊かな海づくり大会

おんせん県おおいた大会

つくり育てる漁業や自然環境の保全に取り組む 皆さんにお話を聞きました



魚を食べる機会に近ければ近いです。産地に近いところで食べれば、それだけおいしいです。皆さんには、ぜひ地元大分の魚の魅力を知って、たくさん食べてもらいたいと思います。

魚を食べる機会に近ければ近いです。産地に近いところで食べれば、それだけおいしいです。皆さんには、ぜひ地元大分の魚の魅力を知って、たくさん食べてもらいたいと思います。

佐賀県では、昔から一本釣りが主流です。資源には限りがあります。そこで、みんなで大事に釣ろう、と一本釣りをしています。先人たちの代から、海の資源を守り続けているんです。

日本でも屈指の漁場である佐賀県で釣れる魚はやはりおいしいです、よりおいしくする工夫もしています。その魅力を多くの人に知ってもらい、食べてもらえれば魚価に反映できます。私たちは海を守りつつ漁師さんも守らないといけません。漁師の平均年齢は約70歳。若者の参入がどんどん減っている現状です。



大分県漁業協同組合 佐賀県支店 高瀬 大輔さん

大分の魚の魅力、ぜひ知ってください

11月10日(日)に、「第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～」が天皇皇后両陛下のご臨席のもと、大分市・別府市で開催されます。全国から水産関係者を迎え、式典行事、海上歓迎・放流行事を実施し、大分の水産業を全国に発信します。また、大会の開催に合わせて、関連行事「豊かな海づくりフェスタ」を開催します。大分の豊かな海の恵みをぜひ感じてください。 固 林業水産課 ☎585-6028



漁協社会科見学



稚魚の放流



きれいな海を守るためにビーチクリーンの活動は大切だと思います。田ノ浦にごみがなくなるくらいきれいになるまで、ずっと続けていきたいです。

末松さん・砂浜には、マイクロプラスチックがたくさん落ちています。それを魚が食べて、その魚を人間が食べるかと思うと、少し怖いと感じます。

ビーチクリーンには、マイクログラスチックが大量に落ちています。それを魚が食べて、その魚を人間が食べるかと思うと、少し怖いと感じます。

神田さん・月に一度、田ノ浦ビーチでビーチクリーンに取り組んでいます。海岸には大きなごみもありますが、小さなプラスチックの破片もたくさん落ちていて、ごみを正しく分別して捨てるのが大切だと感じます。



(公社)ガールスカウト 大分県連盟 神田 愛奈さん(右) 末松 古都さん(左)

ビーチクリーンに取り組んでいます

関連行事

豊かな海づくりフェスタ

見て、聞いて、触って、体験して、食べて感じる「豊かな海」とその保全について考えるイベントを開催します。

- 内容
- 「さかなクン」のステージショー(9日)
 - 魚のつかみ取りなどの体験ブース
 - 県産魚の飲食・物販ブース
 - 主要行事の映像中継(10日) など



同日開催 「おおいたマルシェ」「大分市木育フェス」連携企画クイズラリー

各イベント会場をまわってクイズに挑戦!全問正解すると豪華賞品が当たる抽選会に参加できます。(おおいたマルシェ、大分市木育フェスは4ページへ)



主要行事 月日 11月10日(日)

※主要行事は招待者のみの参加です。



イメージ



イメージ

【式典行事】

会場 iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ

- 功績団体等表彰
- 最優秀作文の発表
- 漁業者のメッセージ
- 大会旗引継ぎ など

【海上歓迎・放流行事】

会場 別府港第4埠頭

- 歓迎演奏
- 漁船等による海上パレード・漁法紹介
- 稚魚放流 (マコガレイ・マダイ)

全国豊かな海づくり大会とは?

昨年の大会の様子(北海道)



水産資源の保護・管理と環境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて、漁業の振興と発展を図ることを目的として開催されています。大分県では、昭和56年に第1回が開催されて以来、2回目の開催となります。

大分大会では……

水産資源を守り増やしていくための取り組みや、海や川の自然環境を守っていくことの重要性を全国に発信していきます。また、大分が誇る「美味」あふれる多様な水産物や「おんせん県おおいた」の新たな魅力をPRします。



大会ホームページ